

## ボリビアでボリビア出血熱が発生

2012年1月26日 ProMED 情報( FM Bolivia)



1月26日、ベニ県保健局(SEDES)の局長の話によると、今月に入り、マモレ Mamore 郡と Itenez 郡で出血熱の患者が増加しています。一名の患者は、マモレ Mamore 郡の Penas Verdes 農園で感染し、コチャバンバ Cochabamba で死亡しました。血液検査から、*Calomys callosus* mice(シロアシネズミ)を介して感染するマチュポウイルスが確認されました。また、同農園では、現地従業員の娘が、最近出血熱に似た症状でマグダレナ Magdalena の病院に入院しています。ここ数時間で6名の疑い患者がマモレ Mamore 郡と Itebez 郡から報告されており、そのうち3名がサン・ラモン San Ramon の病院、1名がマグダレナの病院に入院しています。

[ProMED 調整者]

ベニ県では、昨年11月末から流行が続いている模様です。ベニ県はボリビア出血熱の病原体であるマチュポウイルスの常在地です。シロアシネズミは、アレナウイルス科の一種のマチュポウイルスを保有するげっ歯類です。